

第4回日本海洋人間学会大会

大会次第※9月11日暫定版

主催：日本海洋人間学会

会期：2015年9月26日（土）・27日（日）

会場：東京海洋大学品川校舎白鷹館

【大会本部】

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学内 日本海洋人間学会事務局

TEL/FAX：03-5463-4276（千足研）

E-mail：jsmta@jsmta.jp

第 4 回日本海洋人間学会大会

学会役員

会長 : 神田一郎

副会長 : 小峯 力 柳 敏晴

常務理事 : 佐野裕司

理事 : 赤嶺正治 海野義明 久門明人 佐々木剛 七呂光雄 高木英樹
武田誠一 千足耕一 藤本浩一 矢野吉治 吉本誠義

監事 : 菊地俊紀 寺澤寿一

事務局長 : 藤本浩一 (兼任)

大会実行委員会

実行委員長 : 武田誠一

委員 : 阿保純一 漆谷伸介 菊地俊紀 佐々木剛 佐野裕司 千足耕一
寺澤寿一 蓬郷尚代 藤本浩一

大会補助 : 奥田万智 河本幸太 杉林正晟 平 尚起 諸星 亮

大会日程表

9月26日(土)

- 10:30～11:30 役員会 (5号館1階実験室)
- 12:00～ 受付開始
- 13:00 開会の辞
- 13:10～13:50 第4回学会大会基調講演「海洋人材育成のあり方 - 日本人海技者の新たな挑戦 - 」
- 14:00～15:45 シンポジウム「海洋人材育成のあり方」
- 16:00～17:50 口頭発表セッション1,2
- 18:00～20:00 懇親会 (大学会館食堂)

9月27日(日)

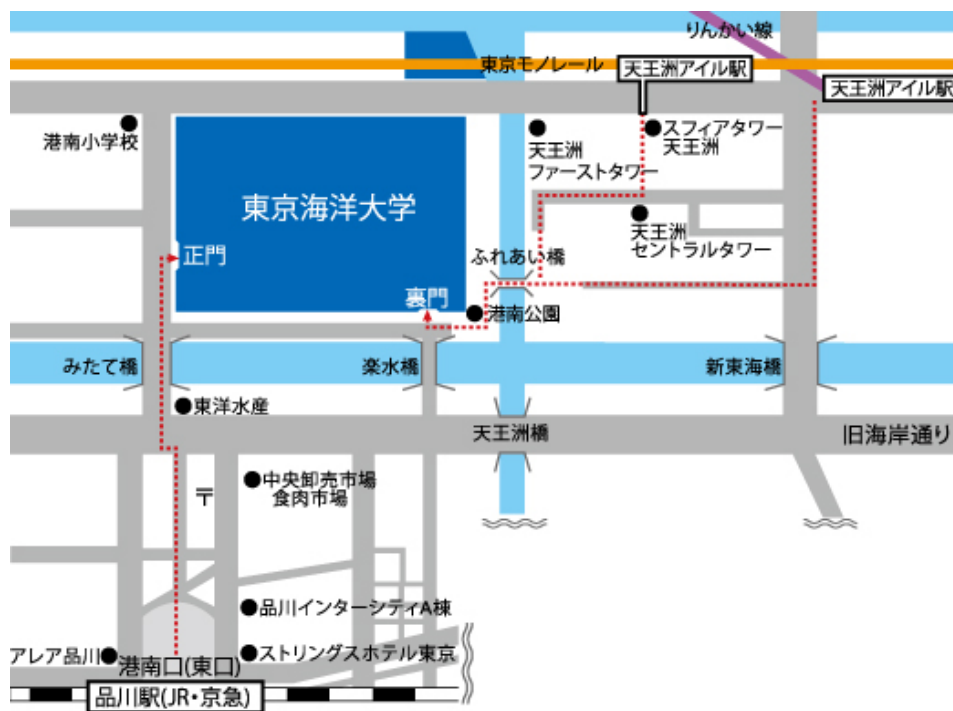
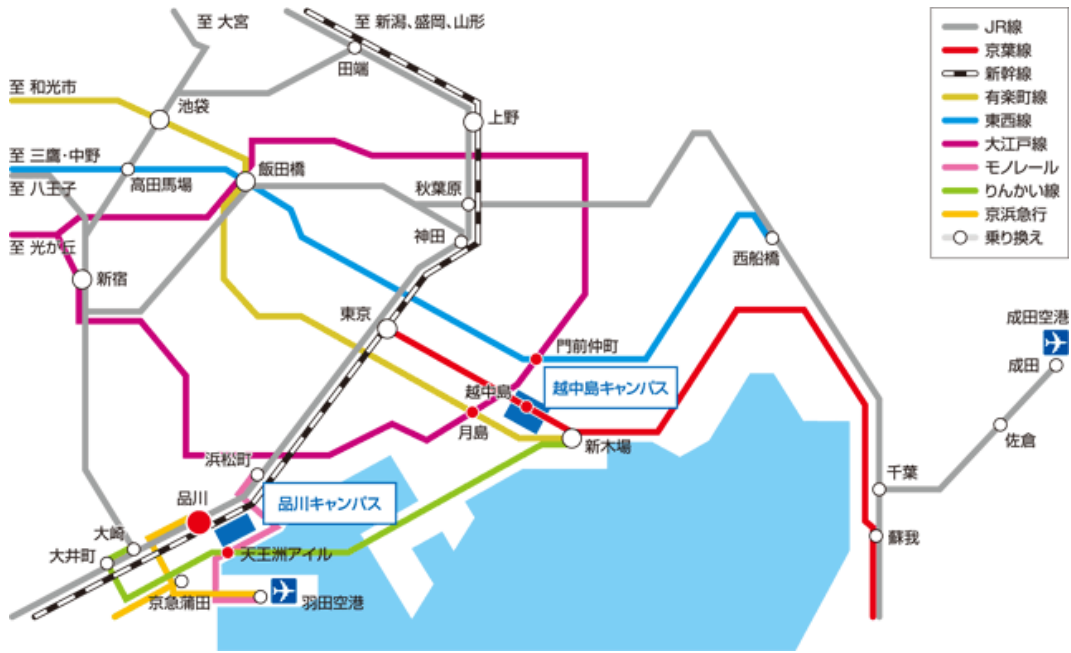
- 09:00～ 受付開始
- 10:00～12:25 口頭発表セッション3,4,5
- 12:25～13:15 昼食
- 13:15～14:00 口頭発表セッション6
- 14:00～14:20 ポスターセッション
- 14:20～15:10 第4回日本海洋人間学会総会
- 15:10～15:20 優秀発表賞等表彰式
- 15:20 閉会の辞

※プログラムは変更される場合があります

東京海洋大学品川キャンパスへのアクセス

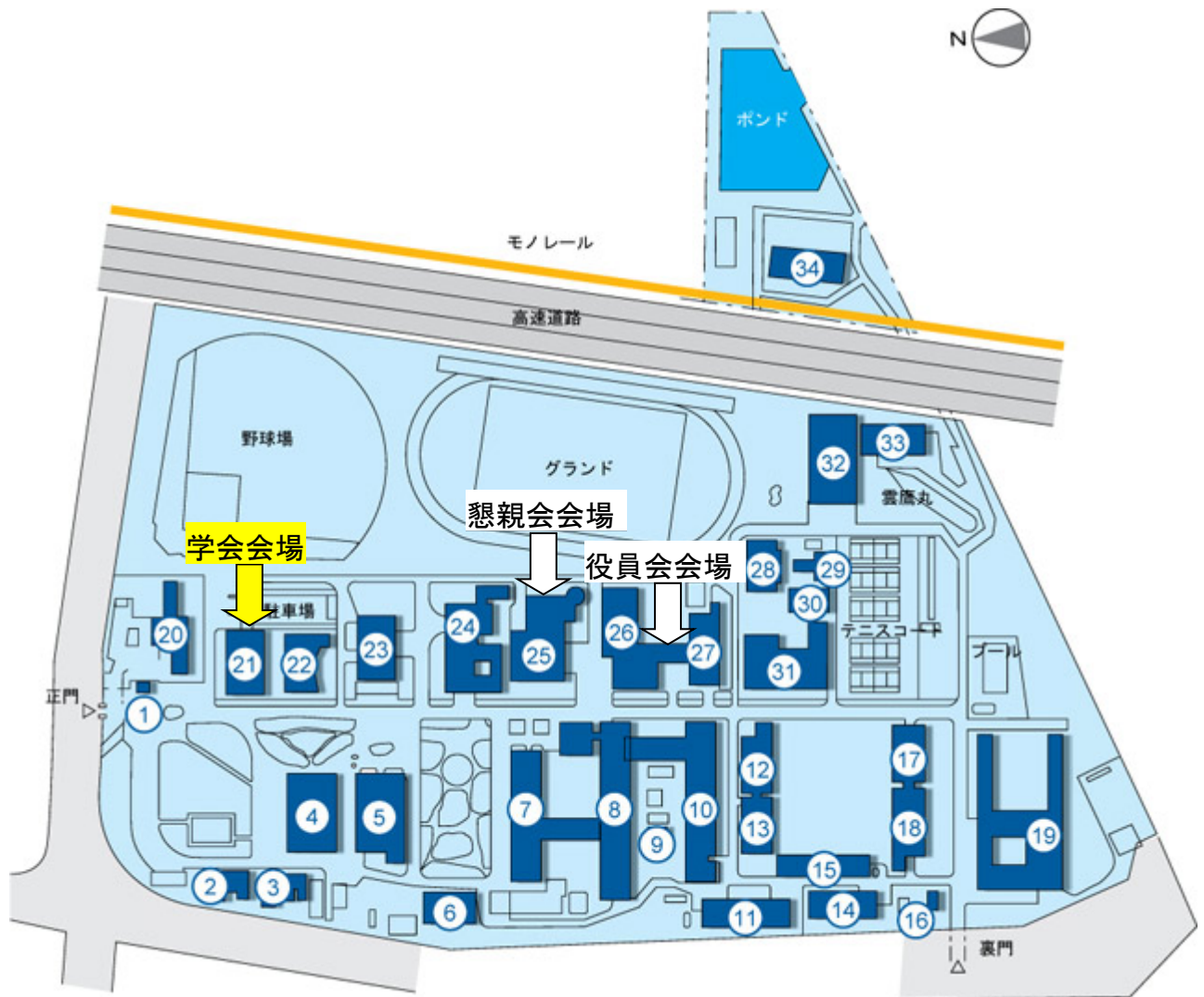
会場：東京海洋大学品川キャンパス（〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7）

- 交通：1)JR 線・京浜急行線「品川駅」下車、港南口より徒歩約 10 分
 2)りんかい線「天王洲アイランド駅」下車、徒歩約 15 分
 3)東京モノレール「天王洲アイランド駅」下車、徒歩約 10 分



品川キャンパス案内図

- ・発表・総会会場（白鷹館 1F 講義室：21）
- ・役員会（5号館 1F 実験室：27）
- ・懇親会（大学会館・食堂：25）



1	守衛所	13	7号館/産学・地域連携推進機構	25	大学会館
2	保健管理センター	14	放射性同位元素利用施設	26	講義棟
3	職員集会所	15	水理模型実験棟	27	5号館
4	本部管理棟	16	廃水処理施設	28	武道館
5	講堂	17	8号館	29	体育管理・合宿施設
6	回流水槽実験棟	18	9号館	30	課外活動施設
7	1号館	19	学生寮（朋鷹寮）	31	特殊実験棟/情報処理センター
8	2号館	20	国際交流会館	32	体育館
9	飼育実験室	21	白鷹館	33	漁業機械学実験実習棟
10	3号館	22	楽水会館	34	艇庫
11	4号館	23	水産資料館		
12	6号館	24	附属図書館		

プログラム

9月26日(土)

10:30～11:30 役員会 (5号館実験室)

12:00～ 受付開始

13:00 開会の辞

13:10～13:50 第4回学会大会基調講演「海洋人材育成のあり方—日本人海技者の新たな挑戦—」

演者：山本 勝 (一般社団法人海洋会 会長)

司会： ()

14:00～15:45 シンポジウム「海洋人材育成のあり方」

司会： ()

シンポジスト：田代省三 (海洋研究開発機構 海洋工学センター長代理)
「有人潜水調査船「しんかい2000」が残したもの」

林 敏史 (東京海洋大学船舶運航センター神鷹丸)
「漁業練習船の実習の歴史とこれから」

金澤俊明 (金沢漁業株式会社社長)
「漁船船主としての思い」

16:00～16:45 口頭発表 セッション1

座長：蓬郷尚代 (東京海洋大学)

Oa01. レクリエーション専門志向化と主観的幸福感・レジャー満足度の関係性：
日米のスクーバダイバーを対象として

松本秀夫 (東海大学, 東京海洋大学大学院)

Oa02. ダイビング器材におけるオーダーメイドの足ひれ(フィン)に関する研究1
- ダイバーを対象とした意識調査 -

鉄 多加志 (東海大学)

Ob01. ダイビング器材におけるオーダーメイドの足ひれ(フィン)に関する研究2
- フィン製作の実現性について -

合志明倫 (東海大学)

9月26日(土)

16:50～17:50 口頭発表 セッション2

座長：松本秀夫（東海大学）

Oa03. 海上交通における目標物の特定について

山本さくら（神戸大学）

Oa04. 帆船を用いた新人社員研修プログラムが参加者に与える影響について

上野ゆずき（神戸大学大学院）

Oa05. 海洋に関わる野外活動が及ぼす教育的効果について

河本幸太（東京海洋大学大学院）

Ob02. 海洋活動における継続的な体験学習アプローチに向けて ～帆船活動に着目して～

村井伸二（玉川大学 TAP センター）

18:00～20:00 懇親会（大学会館食堂）

タイトルの記号は以下の通りです

Oa：口頭による研究発表

Ob：口頭による実践報告

Pa：ポスターによる研究発表

Pb：ポスターによる実践報告

9月27日(日)

09:00～ 受付開始

10:00～10:45 口頭発表 セッション3

座長：中塚健太郎（徳島大学）

Oa06. YMCA ライフセービングとウォーターセイフティの歩み

柳敏晴（神戸常盤大学）

Oa07. ライフセーバー育成の現場におけるコミュニケーション意識に関する調査

立川和美（流通経済大学）

Ob03. AccesSurf Okinawa 実施報告

音野太志（琉球大学）

10:50～11:50 口頭発表 セッション4

座長：梶 真輝（神戸大学大学院）

Oa08. ライフジャケットに対する漁業者の意識に関する事例調査

佐伯公康（水研センター水工研）

Oa09. 帆船の訓練効果に関する研究

國枝佳明（東京海洋大学）

Ob04. デジタル簡易無線による船陸間イベント運営支援の実践

霜田一将（（独）航海訓練所）

Ob05. 水産大学校におけるボイラ・蒸気タービンプラント教育の現状と課題

一瀬純弥（（独）水産大学校）

11:55～12:25 口頭発表 セッション5

座長：阿保純一（（独）水産総合研究センター開発調査センター）

Oa10. 積極的休息法としての軽運動とGボール椅子の組合せが監視時の心身の状態及びパフォーマンスに与える影響

中塚健太郎（徳島大学）

Oa11. 息こらえが眠気の主観的指標におよぼす影響

高寄正樹（日本大学）

12:25～13:15 昼食

9月27日(日)

13:15～14:00 口頭発表 セッション6

座長：藤本浩一（東京海洋大学大学院）

Oa12. 船舶関連従業者における頸肩背腰部の愁訴と筋の圧痛検査との関係

行田直人（帝京科学大学）

Oa13. 船舶関連従業者における頸肩背腰部の愁訴と脊椎圧痛所見との関係

白石 聖（帝京大学）

Oa14. 1ヶ月の乗船実習が愁訴、筋及び脊椎骨の圧痛に及ぼす影響

菊地俊紀（日本大学）

14:00～14:20 ポスターセッション

Pa01. 水上オートバイ愛好者を対象とした調査研究

漆谷伸介（運輸安全委員会）

Pa02. SCUBA ダイビング指導者を対象とした健康管理に関する実態調査 - 第2報 -

蓬郷尚代（東京海洋大学）

14:20～15:10 第4回日本海洋人間学会総会

15:10～15:20 優秀発表賞等表彰式

15:20～ 閉会の辞

タイトルの記号は以下の通りです

Oa：口頭による研究発表

Ob：口頭による実践報告

Pa：ポスターによる研究発表

Pb：ポスターによる実践報告

学会大会参加者へ

大会への参加は、下記の年会費および大会参加費を納めた本学会会員に限ります。本学会会員以外の方も臨時会員として、大会当日に参加費を納めることで参加することができます。なお、入会を希望される場合は、この他に入会金 1,000 円と年会費 6,000 円が必要となります。

※参加費等は、事務局口座への前納振込(期限:2015年9月16日)を推奨します。

	年会費	前納大会参加費	大会当日参加費
正会員	6,000円	3,000円	5,000円
学生会員	3,000円	1,000円	2,000円(学生証を提示)
賛助会員	一口20,000円	1,000円	2,000円(一口1名まで)
臨時会員	—	—	5,000円(大会当日受付)

シンポジストへ

1. 発表形式は、PowerPoint を使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。また、発表中のパソコンの操作は、発表者の責任において行って下さい。なお、発表時間は基本的に30分となっておりますが、司会者との打ち合わせにより調整頂いても結構です。
2. 発表用 PowerPoint ファイルは、受付に準備されている学会所定のパソコンにコピーしたのち、必ずご自身で動作確認を行って下さい。なお、コピーはセッション毎に定められた以下の日時にてお願い致します。

シンポジウム「海洋人材育成のあり方」 26日 12:00～13:00

プレゼンテーション用のパソコンは学会本部で準備したものを使用し、それ以外のパソコンは原則として使用できないものとします。パソコンのシステムは、Windows7、PowerPoint2010 となります。

3. PowerPoint ファイルに動画を埋め込む場合は、AVI 形式、WMV 形式など、Windows7 環境下での PowerPoint2010 において再生可能であるファイル形式、なおかつ容量も極力少なくしたものをご使用ください。また当日は PowerPoint ファイルのみならず、動画ファイルの原本も合わせてお持ちください。学会本部でも動画ファイル形式や再生に関して幅広く対応できる準備を整えておりますが、万が一再生できない場合は何卒ご容赦下さい。

一般口頭発表者へ

1. 発表者は会場到着後、ご自身の発表の前までに必ず受付を済ませて下さい。
2. 発表形式は、PowerPoint を使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。また、発表中のパソコンの操作は、発表者の責任において行って下さい。
3. 前演者の発表が開始した後に必ず次演者席へお座り下さい。1 演題の持ち時間は、13 分(発表 10 分、質問 3 分)です。呼び鈴は 8 分に 1 回、10 分に 2 回、13 分に 3 回鳴ります。発表時間を厳守して下さい(持ち時間 13 分を経過した場合は、発表を打ち切って頂く場合も有ります)。
4. 発表用 PowerPoint ファイルは、受付に準備されている学会所定のパソコンにコピーしたのち、必ずご自身で動作確認を行って下さい。なお、コピーは原則として、セッション毎に定められた以下の日時にてお願い致します(パソコンが空いていれば、セッション毎に定められた時間以外でもコピー可能です)。

セッション 1, 2 26日 12:00～13:00

セッション 3, 4, 5 27日 9:00～ 9:40

セッション 6 27日 12:30～13:00

プレゼンテーション用のパソコンは学会本部で準備したものを使用し、それ以外のパソコンは原

則として使用できないものとしします。パソコンのシステムは、Windows7、PowerPoint2010 となります。

5. PowerPoint ファイルに動画を埋め込む場合は、AVI 形式、WMV 形式など、Windows7 環境下での PowerPoint2010 において再生可能であるファイル形式、なおかつ容量も極力少なくしたものをご使用ください。また当日は PowerPoint ファイルのみならず、動画ファイルの原本も合わせてお持ちください。学会本部でも動画ファイル形式や再生に関して幅広く対応できる準備を整えておりますが、万が一再生できない場合は何卒ご容赦下さい。

一般ポスター発表者へ

1. 発表者は会場到着後、指定質疑応答時間（27日 14:00～14:20）の前までに必ず受付を済ませて下さい。
2. ポスターのサイズは、A0 版縦置き（1,189mm×841mm）の範囲内とします。
3. ポスターは、26日 12:00 から 27日 12:00 までに、発表者の責任において掲示して下さい。また発表者は、指定質疑応答時間中（27日 14:00～14:20）ポスターの前にて質疑応答を行って下さい。取り外しはポスターセッション終了後から 15:40 までに行ってください。なお掲示場所は、学会会場 1 階の受付奥のスペースとなります。詳細は当日受付にてご確認ください。
4. 掲示用のピンまたは磁石等は学会本部にて準備しております。

宿泊施設の手配について

宿泊施設の手配は、大会事務局では行っておりませんので、個人にてご手配下さい。

昼食について

東京海洋大学品川キャンパス付近は、品川駅港南口にかけて多数の飲食店、コンビニエンスストア等がありますので、そちらをご利用下さい。

※26日土曜日は、理事・監事および役員会出席者に弁当の用意があります。

※27日日曜日は、理事・監事・代議員に弁当の用意があります。

懇親会（9月26日 18-20時 大学会館）にご参加の方へのお願い

懇親会費は下記のとおりとなっております。事務局口座への前納振込（2015年9月16日まで）を推奨します。

	前納	当日
一般	3,000円	4,000円
学生	2,000円	3,000円

海洋人間学雑誌 投稿料無料のご案内

第4回学会大会にて口頭発表またはポスター発表が行われた演題につきましては、2015年11月30日までに海洋人間学雑誌（ISSN:2187-0691）にご投稿頂きますと、通常投稿料が原著、研究資料、報告書は1編あたり10,000円、短報は1編あたり5,000円となっておりますところ、全て無料と致します。投稿規定につきましては学会 HP（<http://www.jsmta.jp>）をご参照下さい。